

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

5 年 5 月 17 日

長野県知事 様

提出者 384-1211
住 所 長野県南佐久郡南相木村3623番地4

氏 名 株式会社 中島組
代表取締役 中島 剛

電話番号 0267-78-2131

廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第55条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 中島組
事業場の所在地	384-1211 長野県南佐久郡南相木村3623番地4
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	061 建設業
②事業の規模	前年度実績 413,35万円(税抜)
③従業員数	16人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>○解体工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき類(コンクリート塊) →再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・木くず →再生処理業者に委託して、チップ(合材用、燃料用)として再資源化 <p>○道路建設工事(舗装工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき類(アスファルト・コンクリート塊) →再生処理業者に委託して、再生骨材として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】 別紙1の通り						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	紙くず	廃油	ガラス・コンクリ・陶磁器
	排出量	567.4 t	31.8 t	1.808 t	0 t	0.18 t	0.1 t
(これまでに実施した取組)							
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ使えそうなものは利用するよう呼びかける ・無駄が出ないように呼びかける 							
②計画	【目標】 別紙1の通り						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	紙くず	廃油	ガラス・コンクリ・陶磁器
	排出量	500 t	25.0 t	1 t	0.0 t	0.1 t	0.05 t
(今後実施する予定の取組)							
現状の他に <ul style="list-style-type: none"> ・現場内において、再生利用できるものがないか、作業員全員で検討する 							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・分別できているか、定期的に点検している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者を選定し、分別できているか点検を行う

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施予定なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
・特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
・実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
・特に実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・実施予定なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】 別紙1の通り						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	紙くず	廃油	ガラス・コンクリ・陶磁器
	全処理委託量	567.4 t	31.8 t	1.808 t	0 t	0.18 t	0.1t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t			0 t		
	再生利用業者への処理委託量	567.4 t	31.8 t	1.808 t	0 t	0.18 t	0.1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t			0 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0t	0 t	0 t	0t
	(これまでに実施した取組)						
	・産業廃棄物を委託できる業者を選定し、委託基準に従って書面による契約を実施している。						

②計画	【目標】 別紙1の通り						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	紙くず	廃油	ガラス・コンクリ・陶磁器
	全処理委託量	500 t	25.0 t	1 t	0.0 t	0.1 t	0.05 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	25.0 t	1 t	0.0 t	0.1 t	0.05 t
	再生利用業者への 処理委託量			t			t
	認定熱回収業者への 処理委託量			t			t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			t			t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物を委託できる業者を選定するにあたり、優良認定処理業者かどうかを視野に入れ、検討する ・委託時には書面による契約書を交わし、委託基準に従って実施する						
※事務処理欄							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位：t

実績：前年度産業廃棄物排出量
計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類	総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら焼回をを行った（行う）量		自ら中間処理により減量した（する）量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定焼回収業者への処理委託量		認定焼回収施設設置者以外の焼回収を行う業者への処理委託量	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
	①		②+⑧		⑤		⑦		③+⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
1 燃え殻																				
2 汚泥																				
3 廃油	0.18	0.10									0.18	0.10		0.10		0.18				
4 廃酸																				
5 廃アルカリ																				
6 廃プラスチック類	1,808	1,000									1,808	1,000		1,000		1,808				
7 紙くず																				
8 木くず	31.80	25.00									31.80	25.00		25.00		31.80				
9 繊維くず																				
10 動物性残渣																				
11 金属くず	0.19	0.10									0.19	0.10		0.10		0.19				
12 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.1	0.05									0.1	0.05		0.05		0.1				
13 ぬいこ																				
14 その他																				
合計	601,478	526,25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	601,478	526,25	0.00	526,25	601,478	0.00	0.00	0.00	0.00	

※ 総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- 「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。